



視点4 事業の継続性
 視点4-3 市民とのパートナーシップを高めます

1. 『湘南ふじさわ下水道ビジョン』での方針・目標

藤沢市では市民ニーズ把握のための調査を実施しており、「市民満足度等に関する調査（H20 調査、2008年10月報告）」では、72施策のうち“下水道による水環境の整備”の満足度は第2位で高い評価を得ております。しかし、約10%の市民から不満・やや不満との評価となっており、近年の市民意識調査（平成28年度）でも“地域での災害への備え”や“橋や下水道の老朽化対策”への満足度が40%以下と低い値になっています。このように下水道整備に加えて、浸水・地震・津波などに対する安全対策や下水道の老朽化対策の重要性も高まっています。

また、高度化・多様化するニーズに対応し、下水道サービスレベルの向上を図るために、地域力・市民力・行政力を集結した市民参画・協働による下水道づくりが求められています。

方針・目標 【長期目標】	下水道への市民満足度のより一層の向上を目指します
主な施策	1) 『見える下水道』の推進 2) 市民や民間事業者との連携による事業実施 3) 下水道事業の総合化、重点化

2. 第1期アクションプログラムの評価

第1期アクションプログラムでは、下水道フェアや小学校への出張授業等を通じて下水道事業のPR活動を行ってきましたが、現在は国道工事の影響で大清水浄化センターの敷地内が使用できないため下水道フェアの会場が確保できず、一時中止となっており、ほかの下水道事業PRを強化しています。市民や民間事業者との連携による事業運営については、下水道運営審議会による計画段階からの協働した検討が行われていますが、今後は、コンセッション方式をはじめとするPPP/PFIなどの官民連携事業の推進等の検討を進めていく必要があります。また、ハード対策にソフト対策や自助・共助を合わせた事業の総合化、市民ニーズを反映した事業の重点化等の取組についても検討していく必要があります。

	第1期アクションプログラムでの実施状況	評価指標	
		活動指標	効果指標
1) 『見える下水道』の推進	下水道フェアは現在休止としており、その他のイベントを強化 	下水道事業のPR活動 目標：PR活動の実施 実績：現場見学会、下水道フェア、出張授業、下水道施設空間の市民開放、HP発信、パンフレット作成、パブコメ、下水道運営審議会の活用 	PR事業等の参加人数の増加率(H21年度比) 目標：10%増(H21年度比) 実績：32%減(H21年度比)
2) 市民や民間事業者との連携による事業実施	各種施策に対するパブコメや下水道運営審議会の意見を反映 官民連携事業検討も実施 		
3) 下水道事業の総合化、重点化	下水道ビジョンでの重点施策等の実施状況評価を踏まえ、第2期計画の見直しを実施 		
施策評価	PR事業である『下水道フェア』の中止等により、効果指標未達成となった 下水道フェア以外のPR活動（工事現場見学会、情報公開等）を強化している		

用語：下水道運営審議会、ハード対策、パブリックコメント（パブコメ）



3. 第2期アクションプログラムの実施方針

引き続き様々な形で下水道事業のPR活動・情報発信を行い、「下水道の見える化」を推進していきます。また、下水道運営審議会による協働運営や民間事業者のノウハウ・創意工夫をいかした下水道運営等、民間の活力を下水道事業にいかす方策を検討していきます。

【主な事業内容のポイント】

- 下水道事業のPR活動・情報発信の充実を図る
- ・『見える下水道』の推進、市民との連携（①②③④⑤⑧）

表1 「視点4-3. 市民とのパートナーシップ」の主な事業内容

主な施策項目	具体的な事業	種別	事業実施時期					
			29	30	31	32	33	34
1) 『見える下水道』の推進	① 工事現場見学会等の実施	継続	→					
	② 下水道施設を活用したイベントの実施	継続	→					
	③ 下水道施設空間の市民開放	継続	→					
	④ HP、広報等での情報発信の充実	継続	→					
2) 市民や民間事業者との連携による事業実施	⑤ パブコメ等による市民ニーズの把握	継続	→					
	⑥ 雨水貯留浸透施設設置などの助成	継続	→					
	⑦ 民間事業者のノウハウ・創意工夫を活かした下水道運営等の検討	継続	→					
	⑧ 下水道運営審議会による協働運営	継続	→					
3) 下水道事業の総合化、重点化	⑨ 事業の総合化(ハード・ソフト・自助・共助)、重点化(ニーズに応じた優先度評価・時間管理)	継続	→					
	⑩ 下水道ビジョンの策定・実行・評価	継続	→					

※ …… 破線は下水道フェアの休止期間

4. 第2期アクションプログラムの目標（活動指標）

主な施策・事業の実施状況及び実施効果については、以下の活動指標を基に、3年ごとに評価を行います。

表2 「視点4-3. 市民とのパートナーシップ」の目標（活動指標）

施策項目	指標		第2期AP目標		備考 (実績)
			中間評価 (H31年度)	第2期AP (H34年度)	
『見える下水道』の推進 市民や民間事業者との 連携による事業実施	活動 指標	下水道事業 のPR活動の 実施	PR活動の 実施 (H29～31)	PR活動の 実施 (H32～34)	H23～28末 各種のPR活動の 実施

※第1期アクションプログラムで効果指標としていたPR事業等の参加人数の増加率(H21年度比)は、第2期アクションプログラム期間内は下水道フェアの休止(下水道フェア会場である大清水浄化センター敷地を国道工事で使用しているため)等により、目標指標の設定は行いません。